

## V . 様式

## V -1. 様式一覧

様式 A1 ～ A5 までは現地に持参し、記載する。これらは帰着後に pdf ファイルに変換し提出する。様式 B1 ～ B4 までは撮影された写真を貼り込み提出する。

データの入力様式については、下記の Web サイトから最新版の入力ツールをダウンロードして入力し、提出すること。

[http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/fsinvent/method/manualdl\\_4.html](http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/fsinvent/method/manualdl_4.html)

様式 A1 調査実施状況確認票

様式 A2 調査プロット見取り図

様式 A3 枯死木調査票

様式 A4 炭素蓄積量調査票

様式 A5 試料リスト

様式 B1 調査地林相写真

様式 B2 枯死木調査工程写真

様式 B3 炭素蓄積量調査工程写真

様式 B4 分析用試料混合工程写真

## V-2. 各様式記載要領

## 様式 A1 調査実施状況確認票記載例

## 様式 A1 調査実施状況確認票

- ① 格子点ID(6桁数字) 080470      ② 調査年月日(西暦8桁数字) 20210812      ③ 調査担当会社 (株) 森林環境
- ④ 調査担当者 森林 花子
- ⑤ 調査カテゴリ: (A) B

- ⑥ 調査実施状況: (完了)・未完了・不実施(未完了、不実施の場合は備考欄に詳細経過を記入。)

## ⑦ 不実施の理由

- ☐ 所有者・地権者の同意を得られない。  
☐ 法的規制  
☐ その他(具体的に.....)

## ⑧ 調査地の属地情報

座標(中心点座標をGPSで確認し記入する。測地系はWGS84を使用する。)

北緯: 36 度 30 分 53.51 秒      機器名: ガーミン eTrex Vista

東経: 140 度 18 分 25.43 秒

地籍名: 茨城 都道府県

東茨城 郡 城里 市町村 孫根 1435

森林所有: 国有林・(民有林)

森林計画区: 水戸那珂      林小班: 711 は

国有林の場合 → 管轄森林管理署名: .....

## ⑨ 到達経路

- ☒ 到達経路情報通りに到達できた。  
☐ 到達経路情報とは一部異なっていたが、到達できた。  
☐ 到達経路情報以外の経路で到達できた。  
☐ 到達できなかった。
- } 下の備考欄へ詳細を記入

## ⑩ 備考(到達経路、調査プロットや中心杭、円周杭を見つけるための特記事項、未完了の理由など。)

☒ 生態系多様性基礎調査野帳(最大傾斜 29 ° 半径斜距離 19.17 m)に基づいて仮杭を設置。(N・E・S・(W))

例1) (P. 60の記載例に相当) N杭は林道法面との境界に打設されている。これを基準に土壤調査位置を決めると中円をかく乱するため、正規の位置に仮杭を設定し、土壤調査位置を決定した。

例2) W杭は多様性調査野帳の大円半径より短い距離に打設されているが、中円をかく乱する恐れがないので、この杭を基準に土壤調査をした。

例3) 中心杭が20m以内の範囲に3本あった。到達経路情報の4方向写真を基に、最新の多様性調査のものと判断される杭を使用した。

例4) 到達経路図のルートはヤブが厳しすぎたため、南西に約500m離れた谷から一度尾根まで上り調査地に下った。

例5) 到達経路図が間違いで、プロットは北隣の尾根上にある。図示された位置より200m北にある作業道跡をたどりP2の赤ペンキまで到達し、斜面を直登した尾根上のギャップに中心杭がある。

例6) 林道入り口に鍵付きゲートあり。〇〇森林事務所で鍵を借用。

不許可の例) 5月、6月、8月に資料を送付したが返信がなく、データに記載された電話番号は使われていなかった。インターネットとNTT番号案内サービスで電話番号を調べたが該当する番号を見つけることができず、調査期限に間に合うように許可が得られないため不許可とした。

到達不可能の例) 林道〇〇線が駐車位置の5.3km手前で今年の豪雨災害により崩壊していて徒歩でも通行不能だった。〇〇森林管理署に問い合わせたところ、今年度中の復旧見込みはないとの回答だった。他に到達手段がないため不実施とした。

## 様式 A1 調査実施状況確認票記載要領

## ① 格子点 ID

調査地の格子点 ID 番号（6 桁数字）を記入する。

## ② 調査年月日

調査を実施した年月日を西暦 8 桁数字で記入する（20210812 等）。複数日にまたがった場合はその最終日を記入する。不実施の場合は不実施と判断した日を記入する。

## ③ 調査担当会社

調査を行った会社名・法人名を記入する。

## ④ 調査担当者

実際に現地調査を担当した者の氏名を記入する。氏名は姓名を記入することとし、問い合わせに答えることができる者の氏名を記入する。

## ⑤ 調査カテゴリ

該当するほうに○をつける。

## ⑥ 調査実施状況

現地調査の実施状況を次の 3 つに区分し（10 頁参照）、該当するものに○をつける。

未完了の場合は未完了の項目、箇所とその理由を備考欄に記載する。

完了：必要な調査を全て実施した場合。

未完了：やむを得ない理由で途中で調査を中止した箇所がある場合。

不実施：現地調査ができない場合。

## ⑦ 不実施の理由

該当する理由にチェックを入れ（10、11 頁参照）、備考欄に理由の詳細や経緯を記入する。

## ⑧ 調査地の属地情報

座標：GPS で中心杭の座標を計測（測地系は WGS84）し、緯度、経度、GPS の機種名を記入する。

地籍名：調査地の現在の地籍名をできるだけ詳細に記入する。

森林所有：国有林か民有林かについて、該当するものに○をつける。

森林計画区：森林計画区および林小班を記入する。国有林の調査地は、管轄森林管理署名を記入する。

## ⑨ 到達経路

到達経路図通りに到達できたかについて、該当するものにチェックを入れる（11 頁参照）。

到達経路図と異なることがあれば、備考欄に詳細を記載する。

## ⑩ 備考

下記の様な各種情報を記載する。

- ・駐車場所までの道路、駐車場所から調査プロットに到達する経路における特記事項（ゲート、林道の崩壊等による通行不能、危険箇所などについての情報）。

- ・到達経路情報と経路が異なる場合は経路の概略と理由。

- ・プロットの場所が到達経路情報と異なっていたらその状況。

- ・林道等の通行許可、ゲートの施錠状況、鍵の借り方。

- ・調査プロットおよび中心杭・円周杭を見つけるための特記事項（歩道からの距離や方角、目印となる立木等の特徴物等）。

- ・杭の位置が通常と異なる場合、杭がない場合はその状況、理由（わかれば）。仮杭を設定した場合は備考欄上部の□にチェックを入れ、多様性調査野帳から最大傾斜、半径斜距離を転記し、設定した方位に○をつける。それ以外の方法で仮杭を設定した場合は設定方法を記載する。

- ・ガレ場などの危険箇所等、歩行、作業時の注意。

- ・所有者等から立ち会いを求められた場合はその状況。

- ・不実施の場合は理由と経緯。未完了の場合は項目、箇所とその理由。

## 様式 A2 調査プロット見取り図記載例

## 様式 A2 調査プロット見取り図

① 格子点ID (6桁数字)

080470

② 調査年月日 (西暦8桁数字)

20210812

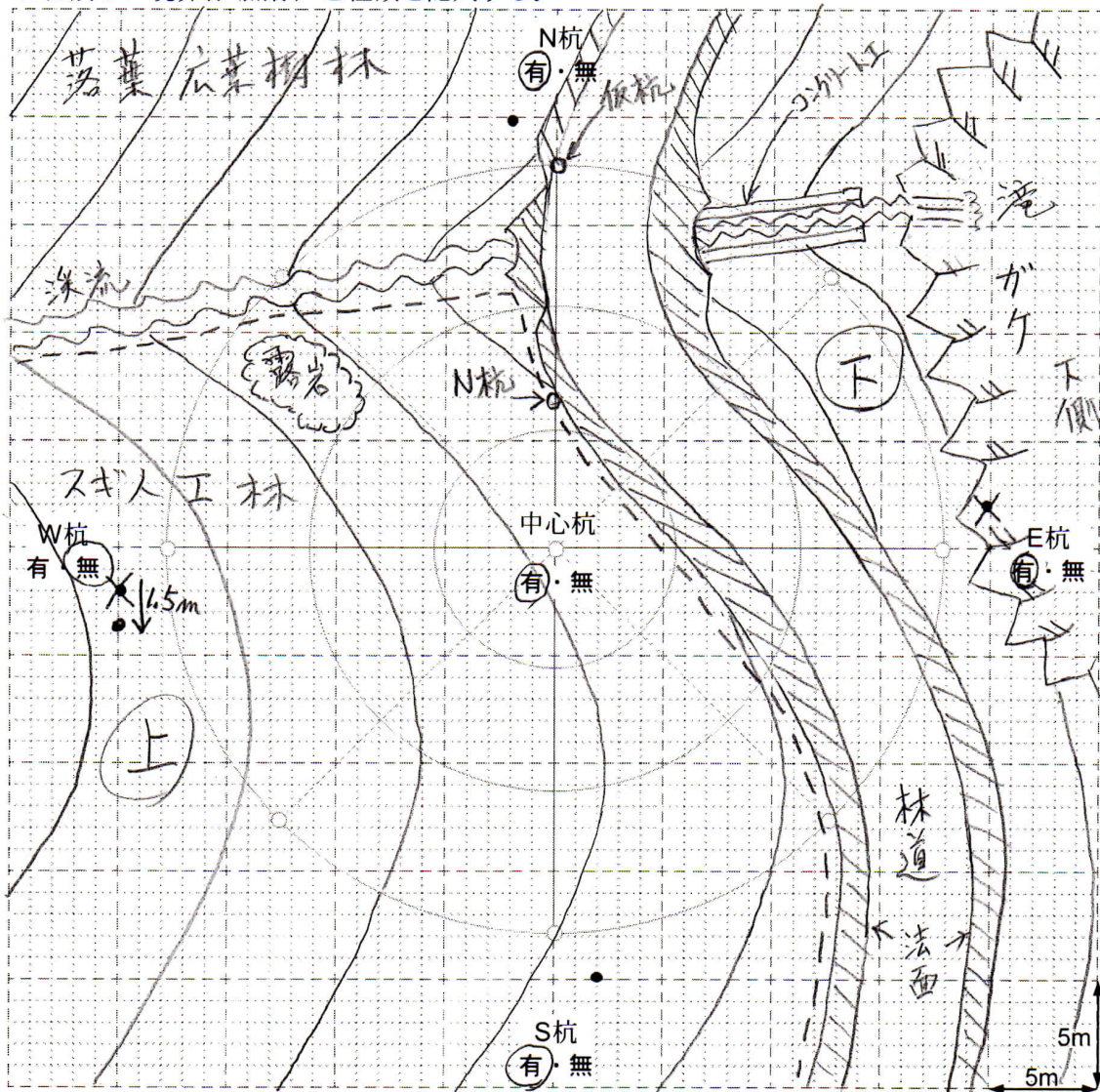
③ 調査担当者

森林 花子

④ 調査カテゴリ : (A)・B

⑤ 調査プロット見取り図

- ・ 中心杭およびN、E、S、Wの各外周杭の有無を○で囲む。
- ・ ●はカテゴリAの土壌炭素蓄積量調査位置。移動した場合は×をつけ、新たな調査位置に●を記入し矢印と移動距離を記入する。調査を取り消した場合は×をつける。
- ・ 地形の概況を等高線（実線）等により記載し、斜面の上下を記入する。
- ・ 枯死木調査の調査ラインから除外される道路や河川等や、特徴的な地形等を記載する。
- ・ 調査プロット内に複数の林相や森林以外の土地が含まれる場合はスギ林、コナラ林、畑のように区別し、境界線（点線）と種類を記入する。



⑥ 調査位置の取り消し、移動

調査位置 移動距離(m) 理由

N : ☐ 取り消し ☐ 移動 : 現存杭を基準にすると中心をかく乱するため、正規の位置に仮杭を設定。E : ☒ 取り消し ☐ 移動 : ガケの途中に位置するためS : ☐ 取り消し ☐ 移動 :W : ☐ 取り消し ☒ 移動 : 1.5 : 立木に当たったため

## 様式 A2 調査プロット見取り図記載要領

## ①格子点 ID

調査地の格子点 ID 番号（6 桁数字）を記入する。

## ②調査年月日

調査を実施した年月日を西暦 8 桁数字で記入する。複数日にまたがった場合はその最終日を記入する。

## ③ 調査担当者

実際に現地調査を担当した者の氏名を記入する。氏名は姓名を記入することとし、問い合わせに答えることができる者の氏名を記入する。

## ④調査カテゴリ

該当するほうに○をつける。

## ⑤調査プロット見取り図

図の方眼の目盛りとプロットの形状は水平な場合のものなので、傾斜地では水平距離や縦横の比率が異なるが、図中の各杭の位置を基準に相対的な位置関係に従って描画する。

中心杭、東西南北の各円周杭の有無について、該当する方に○をつける。杭が抜けて落っている場合は無として状況を様式 A1 の備考欄に記載する。杭の位置が正規の位置と異なる場合は有として現存杭の位置を記入する。

中心杭と円周杭の斜距離が規定の半径と異なる場合、差が小さければ杭の位置を基準に描画する。杭の位置が正規の位置と異なることが明らかな場合（半径が規定と大きく異なる、正規の位置以外に設置したことが多様性調査野帳からわかる等）は、正規の杭の位置を基準に描画し、現存する杭の位置、仮杭を設定した場合は仮杭の位置を記入する（左頁の N 地点参照）。

調査プロット内に複数の林相や森林以外の土地が含まれる場合はスギ林、コナラ林、畑、道路のように区別し、それぞれの境界線（点線）と種類を記入する。作業道、道路、溪流等は植生界や等高線と区別がつくように（太線、波線、鎖線、ハッチング等）記入する。

枯死木調査の調査ライン長から除外される道路等についてはラインとの位置関係がわかるように記入する。

地形の概略がわかるように等高線（実線）を描き、斜面の上下方向や尾根・谷を記載する。尾根線、谷線は記入しない（等高線や植生界等との混同を避けるため）。等高線で表現できないような特徴的な地形、物体（崖、露岩、人工構造物等）は、状況がわかるように適宜記載する。

斜面の上下方向の表現には「上」「上側」「斜面上」「下」「下側」「斜面上」「尾根」「谷」の文字を記入し、矢印は使わない。

カテゴリ A の場合、取り消しの調査位置がある場合は、その方位の●に×を記入する。

調査位置の移動を行った場合は、元の●に×をつけ、新たな調査位置に●を記入し、移動した矢印と移動距離を記入する（左頁の W 地点参照）。

正規の位置と異なる位置に打設されている現存杭を基準に土壌炭素蓄積量調査を行ったため調査位置が図中の●とは異なる場合は、現存杭を基準とした調査位置に●を記入し、元の●は使用していないことを記載する。

## ⑥調査位置の取り消し、移動

調査を行わなかった調査位置については、取り消しの□にチェックをつけ、その理由を記入する（左頁の E 地点参照）。

調査位置を移動した場合は、移動の□にチェックをつけ、移動距離と移動の理由を記入する（左頁の W 地点参照）。

マニュアルに指定された位置で採取した場合には何も記入しない。ただし、杭が正規の位置以外にあり、仮杭を基準に土壌炭素蓄積量調査を行った場合はその旨を理由欄に記入する（左頁の N 地点参照）。

## 様式 A3 枯死木調査票記載例

## 様式 A3 枯死木調査票

① 格子点ID (6桁数字)

080470

② 調査年月日 (西暦8桁数字)

20210812

③ 調査担当者

森林 花子

④ 調査ライン: (南北)・東西

( / ) 枚中の ( / ) 枚目

⑤ 裏面への記載: (有)・無

⑥ ラインの水平距離測定

使用した測器 ☐ レーザー/超音波測器, ☒ 巻尺とクリノメーター

| 番号 | 水平距離(m) | 斜距離(m) | 傾斜角(°) | 対象外チェックと理由                                  | 傾斜構成簡易図 |
|----|---------|--------|--------|---------------------------------------------|---------|
| 1  |         | 6.5    | 8      | <input type="checkbox"/>                    |         |
| 2  |         | 12.7   | 5      | <input type="checkbox"/>                    |         |
| 3  |         | 6.9    | 6      | <input type="checkbox"/>                    |         |
| 4  |         | 12.3   | 3      | <input checked="" type="checkbox"/> 林道とスの法面 |         |
| 5  |         |        |        | <input type="checkbox"/>                    |         |
| 6  |         |        |        | <input type="checkbox"/>                    |         |
| 7  |         |        |        | <input type="checkbox"/>                    |         |
| 8  |         |        |        | <input type="checkbox"/>                    |         |
| 9  |         |        |        | <input type="checkbox"/>                    |         |

←いずれかの方法で測定する

傾斜構成簡易図 中心杭で区切る。各杭の位置を明示する。

(S) ← 方位 方位 → (N)

⑦ 樹種の略称設定: (ス: スギ) (タ: タケ) ( : ) (S: 針葉樹) (K: 広葉樹)

⑧ ラインインターセクト法

・倒木調査 ☐ 倒木無し

ベルト法

・立枯木調査 ☐ 立枯木無し

| 番号 | ⑨ 樹種  | ⑩ 分解度 | ⑪ 直径(cm) |
|----|-------|-------|----------|
| 1  | ス     | 4     | 8.5      |
| 2  | ス     | 2     | 12.0     |
| 3  | ス(15) | 3     | 11.5     |
| 4  | ス(15) | 3     | 10.0     |
| 5  | ス(15) | 3     | 13.5     |
| 6  | ス(15) | 3     | 12.5     |
| 7  | ス     | 2     | 14.5     |
| 8  | ス     | 4     | 11.5     |
| 9  | ス     | 4     | 9.0      |
| 10 | タ     | C     | 15.0     |
| 11 | タ     | C     | 12.5     |
| 12 | K     | 4     | 7.0      |
| 13 | ス     | 2     | 13.5     |
| 14 | タ     | b     | 15.5     |
| 15 | ス     | 4     | 9.5      |
| 16 | タ     | C     | 12.5     |
| 17 |       |       |          |
| 18 |       |       |          |
| 19 |       |       |          |
| 20 |       |       |          |

| 番号 | 樹種 | 分解度 | 胸高直径(cm) | 高さ(m) | 目測                                  | 幹折れ                                 |
|----|----|-----|----------|-------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1  | ス  | 2   | 10.7     | 3.8   | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2  | ス  | 3   | 9.5      | 5.0   | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |
| 3  | K  | 3   | 13.0     | 6.5   | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 4  | タ  | a   | 15.5     | 8.0   | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |
| 5  | タ  | a   | 13.0     | 7.5   | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |

・根株調査 ☐ 根株無し

\* 札No. には根株の写真に写した札の番号を記入

| 札No. * | 樹種        | 分解度 | 直径(cm)     |            | 地際高(cm) |      | 重複                                  |
|--------|-----------|-----|------------|------------|---------|------|-------------------------------------|
|        |           |     | 根株         | 地際         | 上       | 下    |                                     |
| E401   | ス         | 4   | 10.0       | 13.5       | 18.5    | 22.0 | <input type="checkbox"/>            |
| E402   | ス         | 3   | 11.5       | 15.0       | 19.0    | 24.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E403   | ス         | 4   | 7.5        | 10.0       | 61.0    | 65.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E404   | K         | 3   | 15.5       | 19.5       | 42.0    | 56.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E405   | K(E404分岐) | 3   | 8.0        | 12.5       | 31.5    | 37.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E406   | K         | 5   | 65.5, 32.0 | 70.0, 35.5 | 15.0    | 12.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E407   | タ         | C   | 8.0        | 8.0        | 4.0     | 4.5  | <input type="checkbox"/>            |
| E408   | タ         | C   | 9.5        | 10.0       | 6.5     | 8.0  | <input checked="" type="checkbox"/> |
| E409   | ス         | 3   | 15.0       | 20.5       | 16.5    | 23.0 | <input type="checkbox"/>            |
| E410   | ス         | 3   | 12.5       | 18.5       | 19.5    | 23.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E411   | ス         | 3   | 14.0       | 19.0       | 20.0    | 25.5 | <input type="checkbox"/>            |
|        |           |     |            |            |         |      | <input type="checkbox"/>            |
|        |           |     |            |            |         |      | <input type="checkbox"/>            |
|        |           |     |            |            |         |      | <input type="checkbox"/>            |
|        |           |     |            |            |         |      | <input type="checkbox"/>            |

分解度: 木本は0~5、タケはa~c

例外的処置:

同一樹種・分解度で1ラインに9本以上

→ 平均的な直径の4本を選び、

樹種(本数)、サイズを記入

例) タケ(23) c 8.5

タケ(23) c 9.5

タケ(23) c 10.0

タケ(23) c 9.5

## 様式 A3 枯死木調査票記載要領

用紙は調査ライン毎に別葉とする。

## ①格子点 ID

調査地の格子点 ID 番号（6 桁数字）を記入する。

## ②調査年月日

調査を実施した年月日を西暦 8 桁数字で記入する。複数日にまたがった場合はその最終日を記入する。

## ③調査担当者

実際に現地調査を担当した者の氏名を記入する。氏名は姓名を記入することとし、問い合わせに答えることができる者の氏名を記入する。

## ④調査ライン

該当する調査ラインに○印をつける。「( ) 枚中の ( ) 枚目」については、左側の ( ) にそのラインで使用した様式 A3 の枚数を、右側の ( ) に現在記入中の様式が何枚目に当たるかについて数字を入れる（1 枚しかない場合でも左右の ( ) に 1 と 1 を入れる）。

## ⑤裏面への記載

裏面を使用したか、していないかのどちらかに○印をつける。

## ⑥ラインの水平距離測定

使用する測器にチェックを入れる。

傾斜構成簡易図に、調査ラインの縦断地形をスケッチし、中心杭、円周杭の位置を記入する。枠内下部の左右の ( ) に方位を記入する。見通せる範囲でラインを分割し、分割点と区間の番号を記入する。中心杭と円周杭の距離がわかるよう、中心杭で必ず分割する。

測定方法に応じて「水平距離」か「斜距離と傾斜角」の記入欄を選択し、レーザー距離計などの水平距離を直読する機器を使用する場合は水平距離を、巻尺とクリノメーターを使用する場合は斜距離と角度を、該当する区間番号の欄に記入する。

道路や河川、農地など森林以外の土地利用が含まれる場合は、その部分も測定し、「対象外のチェックと理由」の欄の□にチェックを入れ、除外した理由（畑、道路等）を記入する。

## ⑦樹種の略称設定

⑨で記載する樹種の略称を設定する（例「ヒ：ヒノキ」）。針葉樹と広葉樹にはあらかじめ「S」と「K」の略称が設定してある。

## ⑧ラインインターセクト法

該当するラインに倒木がない場合、必ず倒木無しにチェックを入れる。

## ⑨樹種

樹種を記載する。⑦で略称を設定している場合は略称の記載でよい。樹種がわからなければ針葉樹か広葉樹の区別を記載する。針葉樹か広葉樹かも不明な場合は不明と記載する。

## ⑩分解度

木本は 0～5 を、タケは a～c を記入する。

## ⑪直径

0.5cm 単位、小数点以下 1 桁まで記載する。長径と短径が大きく違う場合は「10.5, 6.0」等カンマを入れて記載する。直径巻尺を使用した場合は読み取り値 1 つの記載でよい。直径は 0.1cm 単位でよい。

## 様式 A3 枯死木調査票記載例 (続き)

## 様式 A3 枯死木調査票

格子点ID (6桁数字)

080470

調査年月日 (西暦8桁数字)

20210812

調査担当者

森林 花子

調査ライン: (南北)・東西

( / ) 枚中の ( / ) 枚目

裏面への記載: (有)・無

ラインの水平距離測定

使用した測器 ☐ レーザー/超音波測器, ☒ 巻尺とクリノメーター

| 番号 | 水平距離(m) | 斜距離と傾斜角 | 傾斜角(°) | 対象外チェックと理由                                 | 傾斜構成簡易図 |
|----|---------|---------|--------|--------------------------------------------|---------|
| 1  |         | 6.5     | 8      | <input type="checkbox"/>                   |         |
| 2  |         | 12.7    | 5      | <input type="checkbox"/>                   |         |
| 3  |         | 6.9     | 6      | <input type="checkbox"/>                   |         |
| 4  |         | 12.3    | 3      | <input checked="" type="checkbox"/> 林道との法面 |         |
| 5  |         |         |        | <input type="checkbox"/>                   |         |
| 6  |         |         |        | <input type="checkbox"/>                   |         |
| 7  |         |         |        | <input type="checkbox"/>                   |         |
| 8  |         |         |        | <input type="checkbox"/>                   |         |
| 9  |         |         |        | <input type="checkbox"/>                   |         |

樹種の略称設定: (ス: スギ) (タ: タケ) ( : ) (S: 針葉樹) (K: 広葉樹)

ラインインターセクト法

・倒木調査 ☐ 倒木無し

| 番号 | 樹種    | 分解度 | 直径(cm) |
|----|-------|-----|--------|
| 1  | ス     | 4   | 8.5    |
| 2  | ス     | 2   | 12.0   |
| 3  | ス(15) | 3   | 11.5   |
| 4  | ス(15) | 3   | 10.0   |
| 5  | ス(15) | 3   | 13.5   |
| 6  | ス(15) | 3   | 12.5   |
| 7  | ス     | 2   | 14.5   |
| 8  | ス     | 4   | 11.5   |
| 9  | ス     | 4   | 9.0    |
| 10 | タ     | C   | 15.0   |
| 11 | タ     | C   | 12.5   |
| 12 | K     | 4   | 7.0    |
| 13 | ス     | 2   | 13.5   |
| 14 | タ     | b   | 15.5   |
| 15 | ス     | 4   | 9.5    |
| 16 | タ     | C   | 12.5   |
| 17 |       |     |        |
| 18 |       |     |        |
| 19 |       |     |        |
| 20 |       |     |        |

分解度: 木本は0~5、タケはa~c

例外的処置:

同一樹種・分解度で1ラインに9本以上

→平均的な直径の4本を選び、

樹種(本数)、サイズを記入

例) タケ(23) c 8.5

タケ(23) c 9.5

タケ(23) c 10.0

タケ(23) c 9.5

⑬ ベルト法

・立枯木調査 ☐ 立枯木無し

| 番号 | 樹種 | 分解度 | 胸高直径(cm) | 高さ(m) | 目測                                  | 幹折れ                                 |
|----|----|-----|----------|-------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1  | ス  | 2   | 10.7     | 3.8   | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2  | ス  | 3   | 9.5      | 5.0   | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |
| 3  | K  | 3   | 13.0     | 6.5   | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 4  | タ  | a   | 15.5     | 8.0   | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |
| 5  | タ  | a   | 13.0     | 7.5   | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |

⑭ 根株調査 ☐ 根株無し

\*札No. には根株の写真に写した札の番号を記入

| 札No. * | 樹種        | 分解度 | 直径(cm)     |            | 地際高(cm) |      | 重複                                  |
|--------|-----------|-----|------------|------------|---------|------|-------------------------------------|
|        |           |     | ⑳ 根株       | ㉑ 地際       | ㉒ 上     | ㉓ 下  |                                     |
| E401   | ス         | 4   | 10.0       | 13.5       | 18.5    | 22.0 | <input type="checkbox"/>            |
| E402   | ス         | 3   | 11.5       | 15.0       | 19.0    | 24.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E403   | ス         | 4   | 7.5        | 10.0       | 61.0    | 65.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E404   | K         | 3   | 15.5       | 19.5       | 42.0    | 56.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E405   | K(E404分岐) | 3   | 8.0        | 12.5       | 31.5    | 37.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E406   | K         | 5   | 65.5, 32.0 | 70.0, 35.5 | 15.0    | 12.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E407   | タ         | C   | 8.0        | 8.0        | 4.0     | 4.5  | <input type="checkbox"/>            |
| E408   | タ         | C   | 9.5        | 10.0       | 6.5     | 8.0  | <input checked="" type="checkbox"/> |
| E409   | ス         | 3   | 15.0       | 20.5       | 16.5    | 23.0 | <input type="checkbox"/>            |
| E410   | ス         | 3   | 12.5       | 18.5       | 19.5    | 23.5 | <input type="checkbox"/>            |
| E411   | ス         | 3   | 14.0       | 19.0       | 20.0    | 25.5 | <input type="checkbox"/>            |
|        |           |     |            |            |         |      | <input type="checkbox"/>            |
|        |           |     |            |            |         |      | <input type="checkbox"/>            |
|        |           |     |            |            |         |      | <input type="checkbox"/>            |
|        |           |     |            |            |         |      | <input type="checkbox"/>            |

## 様式 A3 枯死木調査票記載要領（続き）

## ⑫例外的処置

本数が多い場合、例外的処置（16、29 頁）を使用できる。記載方法は 27 頁に従う。

## ⑬ベルト法（立枯木調査）

該当するラインに立枯木がない場合、必ず立枯木無しにチェックを入れる。

樹種、分解度については、⑨、⑩と同じ。

## ⑭立枯木の胸高直径

1.3m の高さの直径を 0.5cm 単位、小数点以下 1 桁まで記載する。長径と短径が大きく違う場合は「10.5, 6.0」のようにカンマを入れて記載する。直径巻尺を使用した場合は読み取り値 1 つの記載でよい。直径は 0.1cm 単位でよい。

## ⑮立枯木の高さ

高さは、m 単位で記載する。目測で測定した場合は目測の□にチェックを入れる。

## ⑯幹折れ

幹折れの場合は幹折れの□にチェックする。特記事項があれば欄外に記載する。

## ⑰例外的処置 → ⑫と同じ。

## ⑱ベルト法（根株調査）

該当するラインに根株がない場合、必ず根株無しにチェックを入れる。

樹種、分解度については、⑨、⑩と同じ。

## ⑲札 No.

根株と一緒に撮影した個体識別のための番号札の番号を記入する。

## ⑳直径（根株）

2 つの地際高上端の低い方の位置で直径を測定する。0.5cm 単位小数点以下 1 桁まで記載する。長径と短径が大きく違う場合は「10.5, 6.0」のようにカンマを入れて記載する。直径巻尺を使用した場合は読み取り値 1 つの記載でよい。直径は 0.1cm 単位でよい。

## ㉑根株（地際）

2 つの地際高下端の高い方の位置で直径を測定する。0.5cm 単位小数点以下 1 桁まで記載する。長径と短径が大きく違う場合は「10.5, 6.0」のようにカンマを入れて記載する。直径巻尺を使用した場合は読み取り値 1 つの記載でよい。直径は 0.1cm 単位でよい。

## ㉒地際高（上）（下）

根株の地際高を斜面の上側と下側を測定する。0.5cm 単位小数点以下 1 桁まで記載する。0.1cm 単位であってもよい。

## ㉓重複

東西、南北ラインの両方で出現する根株があった場合に、重複の□にチェックを入れる。この場合、写真撮影は 1 枚で構わない。その他の特記事項があれば欄外に記載する。

## ㉔分岐している場合

根株が分岐している場合（26 頁参照）は、派生した根株の樹種欄に本体となる根株の番号と「分岐」を記入する。左頁の例では、E404 から E405 が分岐している。



## 様式 A3 枯死木調査票（裏面）記載要領

本様式は表面に書き切れなかった際に使用することができる。使用した場合、必ず表面⑤の裏面への記載（63 頁）について、「有」に○をする。

記載要領はそれぞれ、様式 A3 の表面のものを使用する。

格子点 ID と調査ラインを必ず記入すること（スキャン後のデータがどの地点・ラインのものかわからなくなることを避けるため）。

## 様式 A4 炭素蓄積量調査票記載例

## 様式 A4 炭素蓄積量調査票

① 格子点ID (6桁数字) 080470 ② 調査年月日 (西暦8桁数字) 20210812 ③ 調査位置 (N)・E・S・W N・E・S・W ④ 調査担当者 森山 太郎

## ⑤ 調査位置の取り消し、移動

☐ 取り消し ☐ 移動 ..... m

## 調査位置の地況

⑥ 植生 (林種) : 人工林・天然林・伐採跡地・未立木地・竹林

⑦ 優占 (樹) 種 : コナラ (竹が侵入) ⑧ 林床植生 : ヒサカキ, シダ類

⑨ 特殊地形 : 該当なし・沢・河川・岩石地・崖

⑩ 斜面方位 : 平坦地・N・NE・E SE S・SW・W・NW

## 調査結果

⑪ 堆積有機物傾斜 28 度

区分 層位 厚さcm ⑬ 試料確認

枝

T ☒

## ⑫ 堆積有機物層

L: 2  
F: 1  
H: 0.3 } K ☒

⑭ 内容、堆積状況など

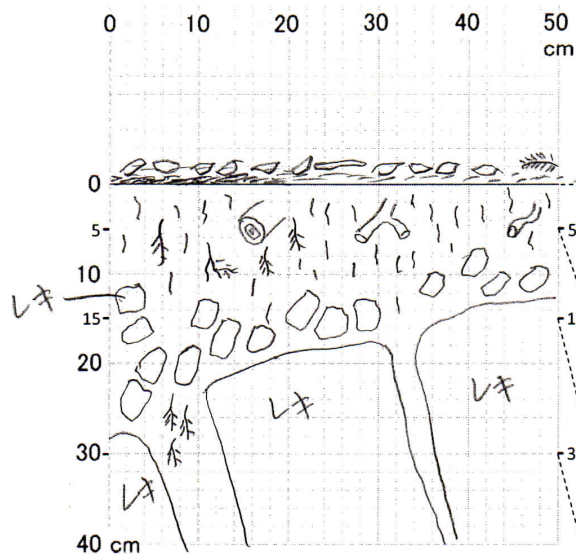
T: 広葉樹

L: コナラ, 竹, シダ類

F:

H: 部分的にHになる. 平均0.3cm

## 断面スケッチ



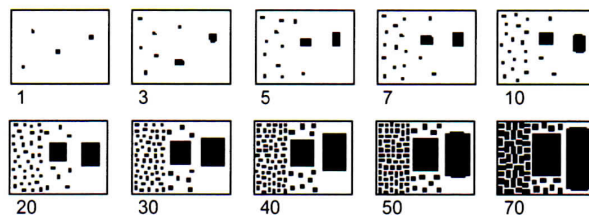
- ・調査位置が巨礫、岩石地、沢、河川の場合は、堆積有機物量調査を実施し、石礫率を全深度100%とする。
- ・定体積試料をブロックで採取した場合は、試料確認チェック欄にサイズ (幅×奥行×高さcm) を記載する。
- ・スケッチしきれない石礫があるときは備考欄にその旨記載する。
- ・試料採取時の石礫率の印象が断面と異なる場合は備考欄に記載する。

| 採取深度<br>cm | 石礫率<br>% | 試料確認                                                       |                                                                                           |  | 備考                       |
|------------|----------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------|
|            |          | 化学分析                                                       | 定体積                                                                                       |  |                          |
|            |          |                                                            | V / VB / VBC                                                                              |  |                          |
| 0-5        | 8        | <input checked="" type="checkbox"/> 幅 20<br>奥行 10<br>高さ 5  | <input checked="" type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> |  | スケッチしきれない細かい石 (3~5mm) 多  |
| 5-15       | 30       | <input checked="" type="checkbox"/> 幅 10<br>奥行 10<br>高さ 10 | <input checked="" type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> |  | 同上                       |
| 15-30      | 70       | <input type="checkbox"/> 幅 10<br>奥行 5<br>高さ 15             | <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input checked="" type="checkbox"/> |  | VBCは深度全体から採取, 採取時石礫率は80% |

## その他備考

小型の石は風化が進み、ハサミで切れる程度の硬さ。

## 石礫率見本 (%)



## 様式 A4 炭素蓄積量調査票記載要領

用紙は調査位置毎に別葉とする。

## ①格子点 ID

調査地の格子点 ID 番号（6 桁数字）を記入する。

## ②調査年月日

調査を実施した年月日を西暦 8 桁数字で記入する。複数日にまたがった場合はその最終日を記入する。

## ③調査位置

調査地内の N、E、S、W の位置を示す記号に○をつける。

## ④調査担当者

実際に現地調査を担当した者の氏名を記入する。氏名は姓名を記入することとし、問い合わせに答えることができる者の氏名を記入する。

## ⑤取り消しと移動のチェック

取り消しの場合は、取り消しの□にチェックをつける。移動した場合は、移動の□にチェックをつけ、移動距離を記入する。

調査地点の地況

現地調査に基づいて以下の項目を記入する。

## ⑥植生

調査位置の植生（林種）を選択肢より選んで○をつける。

## ⑦優占（樹）種

調査位置周辺の上木で最も被覆の多い（樹）種名を記入する。

## ⑧林床植生

調査位置周辺の地表付近で最も被覆の多い種名を記入する。

## ⑨特殊地形

該当する特殊地形があれば○をつけ、なければ該当なしに○をつける。

## ⑩斜面方位

調査位置の最大傾斜方向を通る線分において落水方向（斜面下方へ）の向きを方位磁石等で計測し、平坦地 ,N, NE, E, SE, S, SW, W, NW に区分して○をつける。

## ⑪堆積有機物枠傾斜

堆積有機物試料採取地点の局所的な傾斜を傾斜計（クリノメーター）で計測しその角度（正の整数）を記入する。

## ⑫堆積有機物層の厚さ

堆積有機物層各層の厚さを cm 単位で記入する。40cm より厚い場合は「40+」と記入する。

## ⑬堆積有機物層の試料確認

堆積有機物試料を採取した場合、試料を確認しチェックを入れる。

## ⑭堆積有機物の内容、堆積状況など

樹種、一様か不連続か、混入物、根の分布状態等、試料採取中に気付いた事柄を簡潔に記入する。

## 様式 A4 炭素蓄積量調査票記載例 (続き)

## 様式 A4 炭素蓄積量調査票

格子点ID (6桁数字)

080470

調査年月日 (西暦8桁数字)

20210812

調査位置

N・E・S・W

調査担当者

森山 太郎

調査位置の取り消し、移動

☐ 取り消し ☐ 移動 ..... m

調査位置の地況

植生 (林種) : 人工林・天然林・伐採跡地・未立木地・竹林

優占 (樹) 種 : コナラ (竹が侵入) 林床植生 : ヒサカキ, シダ類

特殊地形 : 該当なし・沢・河川・岩石地・崖

斜面方位 : 平坦地・N・NE・E・SE・S・SW・W・NW

調査結果

堆積有機物幹傾斜 28 度

区分 層位 厚さcm 試料確認

枝

T ☒

内容、堆積状況など

T: 広葉樹

堆積有機物層

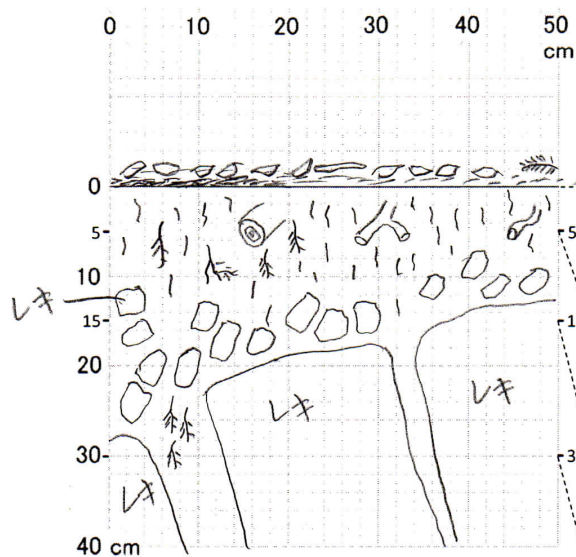
L: 2  
F: 1  
H: 0.3 } K ☒

L: コナラ, 竹, シダ類

F:

H: 部分的にHになる。平均0.3cm

⑮ 断面スケッチ



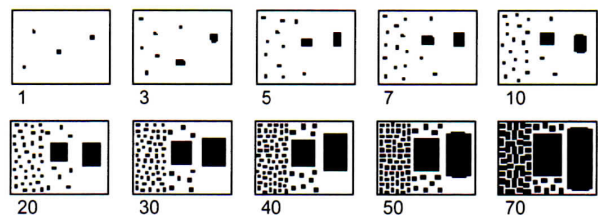
- ・調査位置が巨礫、岩石地、沢、河川の場合は、堆積有機物量調査を実施し、石礫率を全深度100%とする。
- ・定体積試料をブロックで採取した場合は、試料確認チェック欄にサイズ (幅×奥行×高さcm) を記載する。
- ・スケッチしきれない石礫があるときは備考欄にその旨記載する。
- ・試料採取時の石礫率の印象が断面と異なる場合は備考欄に記載する。

| 採取深度<br>cm | 石礫率<br>% | ⑮ 試料確認                                                     |                                                                                           |                        | ⑮ 備考                             |
|------------|----------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|----------------------------------|
|            |          | 化学分析                                                       | 定体積                                                                                       | V / VB / VBC           |                                  |
| 0-5        | 8        | <input checked="" type="checkbox"/> 幅 20<br>奥行 10<br>高さ 5  | <input checked="" type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> | 幅<br>奥行<br>高さ          | スケッチしきれない細かい<br>なシキ (3~5mm) 多    |
| 5-15       | 30       | <input checked="" type="checkbox"/> 幅 10<br>奥行 10<br>高さ 10 | <input checked="" type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> | 幅<br>奥行<br>高さ          | 同上                               |
| 15-30      | 70       | <input type="checkbox"/> 幅 10<br>奥行 5<br>高さ 15             | <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input checked="" type="checkbox"/> | 幅 50<br>奥行 10<br>高さ 15 | VBCは深度全体から<br>採取。<br>採取時シキ率は80%。 |

⑯ その他備考

小型のシキは風化が進み、  
ハサミで切れる程度の硬さ。

石礫率見本 (%)



## 様式 A4 炭素蓄積量調査票記載要領（続き）

## ⑮断面スケッチ

掘削面に現れた特徴を簡潔に模写する。石礫は必ず記載する。スケッチしきれない細かな石礫があるため、スケッチと記載の石礫率が一致しない場合は、その旨を備考欄に記載する。

## ⑯石礫率

試料採取深度毎に石礫が占める面積割合を土色帖の面積割合を参考に % 単位で記入する。面積割合が 10% より多い場合は、一の位を四捨五入して 10% 刻みで記入する。

試料採取時に石礫率が断面観察時と異なった印象を受ける場合には、備考欄に試料採取時の印象を加味した石礫率を記載する。この値は備考として入力し、断面の石礫率としては入力しないこと。

岩石地、沢、小川といった自然状態で土壌が採取できない地点では、石礫率を 100% として記載し、その理由を備考欄に記載する。

## ⑰試料確認

化学分析用土壌試料、定体積試料の採取状況を確認する。定体積試料については採取方法（V；円筒、VB；直方体ブロック、VBC；直方体ブロック試料が化学分析用土壌試料を兼ねる）をチェックし、採取したブロックの大きさを試料確認欄に記載する。

## ⑱備考

石礫や根の分布など試料採取中に気づいた事柄を備考欄に簡潔に記入する。

## ⑲その他備考

断面全体の特徴、複数の深度にまたがる事項など、深度毎の備考欄に書きにくい内容はこちらに記載する。

## 様式 A5 試料リスト記載例

## 様式 A5 試料リスト

## ① 基礎情報

|        |          |
|--------|----------|
| 格子点ID  | 080470   |
| 都道府県   | 茨城県      |
| 調査年月日  | 20210812 |
| 調査担当機関 | (株) 森林環境 |
| 記入者氏名  | 森山太郎     |

- ・分析用試料の混合試料作成時に作成。
- ・試料を並べ野帳様式A4と照合し、「試料の有無」と「種類」をチェックしてリストに記入。
- ・リストは試料に添付して試料調整担当者へ送付。
- ・送付前に仮提出用のコピーかスキャンファイルを保存。

## ② 備考

混合試料、定体積試料中のレキは風化しているため、調整時に破きがないよう注意。

## ③ 化学分析用土壌試料

| 調査位置 | 深度      | 試料ID | 採取状況 |
|------|---------|------|------|
| N地点  | 0-5cm   | N11  | ✓    |
|      | 5-15cm  | N12  | ✓    |
|      | 15-30cm | N13  | ◎    |
| E地点  | 0-5cm   | E11  | —    |
|      | 5-15cm  | E12  | —    |
|      | 15-30cm | E13  | —    |
| S地点  | 0-5cm   | S11  | ✓    |
|      | 5-15cm  | S12  | ✓    |
|      | 15-30cm | S13  | ✓    |
| W地点  | 0-5cm   | W11  | ✓    |
|      | 5-15cm  | W12  | ✓    |
|      | 15-30cm | W13  | ✓    |

記入方法 ✓ 試料を採取した場合  
— 試料を採取していない場合  
◎ 定体積を兼ねる試料採取(VBC)の場合

➡  
VBCは  
混ぜない

## ④ 化学分析用混合土壌試料 ※混ぜる前に写真撮影

| 深度      | 試料ID | 混合状況 |     |     |     |
|---------|------|------|-----|-----|-----|
|         |      | N地点  | E地点 | S地点 | W地点 |
| 0-5cm   | C11  | ✓    | —   | ✓   | ✓   |
| 5-15cm  | C12  | ✓    | —   | ✓   | ✓   |
| 15-30cm | C13  | —    | —   | ✓   | ✓   |

記入方法 ✓ 混合試料に加えた場合  
— 試料を混合していない場合

## ⑤ 堆積有機物試料

| 調査位置 | 区分   | 試料ID | 採取状況 |
|------|------|------|------|
| N地点  | T    | NT   | ✓    |
|      | LFH層 | NK   | ✓    |
| E地点  | T    | ET   | —    |
|      | LFH層 | EK   | —    |
| S地点  | T    | ST   | ✓    |
|      | LFH層 | SK   | ✓    |
| W地点  | T    | WT   | ✓    |
|      | LFH層 | WK   | ✓    |

記入方法 ✓ 試料を採取した場合  
— 試料を採取していない場合

## ⑥ 定体積土壌試料

| 調査位置 | 深度      | 試料ID | 採取形態 |   |    |     | 試料サイズ |    |    |
|------|---------|------|------|---|----|-----|-------|----|----|
|      |         |      | 無し   | V | VB | VBC | 幅     | 奥行 | 高さ |
| N地点  | 0-5cm   | N11  |      | ✓ |    |     |       |    |    |
|      | 5-15cm  | N12  |      | ✓ |    |     |       |    |    |
|      | 15-30cm | N13  |      |   |    | ✓   | 50    | 10 | 15 |
| E地点  | 0-5cm   | E11  | ✓    |   |    |     |       |    |    |
|      | 5-15cm  | E12  | ✓    |   |    |     |       |    |    |
|      | 15-30cm | E13  | ✓    |   |    |     |       |    |    |
| S地点  | 0-5cm   | S11  |      | ✓ |    |     |       |    |    |
|      | 5-15cm  | S12  |      | ✓ |    |     |       |    |    |
|      | 15-30cm | S13  |      | ✓ |    |     |       |    |    |
| W地点  | 0-5cm   | W11  |      | ✓ |    |     |       |    |    |
|      | 5-15cm  | W12  |      | ✓ |    |     |       |    |    |
|      | 15-30cm | W13  |      |   | ✓  |     | 20    | 10 | 10 |

記入方法 定体積試料の採取形態に合わせて4つの欄のうちどれかに✓を付ける  
「VB」か「VBC」で採取した場合は、試料サイズ欄にブロックサンプリング時のサイズをcm単位で記入する。  
「V」で採取した場合と試料採取が無かった場合は、試料サイズ欄には何も記入しない。

試料受取日

## 様式 A5 試料リスト記載要領

## ①基礎情報

格子点 ID (6 桁)、都道府県、調査を実施した年月日 (西暦 8 桁数字)、調査担当機関、記入者氏名を記入する。

## ②備考

試料が通常と異なる場合や、試料調整分析担当者への伝達事項等がある場合は記入する。

## ③化学分析用土壌試料採取状況

それぞれの調査位置ごとに試料を採取した場合はチェックを、採取していない場合は横線を、VBC 試料を採取した場合は C を丸で囲んだ記号を記入する。

## ④化学分析用混合土壌試料

深さ別の混合試料を作成する前に、混ぜる試料を確認する。③の化学分析用土壌試料採取状況で混合対象を確認し、各深さ別混合試料に混ぜた場合はチェックを、混ぜていない場合は横線を記入する。定体積試料と取り違えていないか、VBC 試料が入っていないか注意。

## ⑤堆積有機物試料

それぞれの調査位置ごとに堆積有機物試料を採取した場合はチェックを、採取していない場合は横線を記入する。

## ⑥定体積土壌試料

それぞれの調査位置ごとに、採取した定体積土壌試料の種類にチェックを記入する。VB あるいは VBC の場合は、それぞれの採取サイズを試料サイズ欄に記入する。

様式 B1 調査地林相写真例

様式 B1 調査地林相写真

① 格子点ID

080470

② 調査年月日

20210812

③ 調査担当者

森山太郎

④



調査地林相写真

撮影方向 : 中心点より ⑤ 北 方向

ファイル名 : 080470CN.jpg

④



調査地林相写真

撮影方向 : 中心点より ⑤ 東 方向

ファイル名 : 080470CE.jpg

## 様式 B1 調査地林相写真成果品印刷物作成要領

本様式は、最終成果品として提出する印刷物にだけ使用する。写真の電子データは、「成果提出の手引き」を参照して、決められたファイル名をつけて 1 枚ずつ個別の画像ファイルとして提出する。

本様式は、形式が同様であれば、様式ファイルに用いられているマイクロソフトエクセル以外のアプリケーションを使用して作成しても差し支えない。

## ①格子点 ID

調査地の格子点 ID 番号（6 桁数字）を記入する。

## ②調査年月日

調査を実施した年月日を西暦 8 桁数字で記入する。複数日にまたがった場合はその最終日を記入する。

## ③調査担当者

実際に現地調査を担当した者の氏名を記入する。氏名は姓名を記入することとし、問い合わせに答えることができる者の氏名を記入する。

## ④写真添付欄

撮影した林相写真を、横長に枠いっぱいの大きさに貼る。1 ページに 2 枚ずつ、北、東、南、西の順に貼り付ける。

## ⑤撮影方向

北、東、南、西のいずれかを記入する。

## 様式 B2 枯死木調査工程写真例

## 様式 B2 枯死木調査工程写真

① 格子点ID

080470

② 調査年月日

20210812

③ 調査担当者

森山太郎

④



根株の写真

⑤ ラインの方向 : 南北

⑥ 番号札No. : 004

ファイル名 : 080470NS004.jpg

④



根株の写真

⑤ ラインの方向 : 東西

⑥ 番号札No. : 009

ファイル名 : 080470EW009.jpg

④



根株の写真

⑤ ラインの方向 : 東西

⑥ 番号札No. : 005

ファイル名 : 080470EW005.jpg

④



根株の写真

⑤ ラインの方向 : 東西

⑥ 番号札No. : 180

ファイル名 : 080470EW180.jpg

## 様式 B2 枯死木調査工程写真成果品印刷物作成要領

本様式は、最終成果品として提出する印刷物にだけ使用する。写真の電子データは、「成果提出の手引き」を参照して、決められたファイル名をつけて 1 枚ずつ個別の画像ファイルとして提出する。

本様式は、形式が同様であれば、様式ファイルに用いられているマイクロソフトエクセル以外のアプリケーションを使用して作成しても差し支えない。

## ①格子点 ID

調査地の格子点 ID 番号（6 桁数字）を記入する。

## ②調査年月日

調査を実施した年月日を西暦 8 桁数字で記入する。複数日にまたがった場合はその最終日を記入する。

## ③調査担当者

実際に現地調査を担当した者の氏名を記入する。氏名は姓名を記入することとし、問い合わせに答えることができる者の氏名を記入する。

## ④写真添付欄

撮影した根株の写真を、横長に枠いっぱいの大きさに貼る。1 ページには 4 枚ずつ、番号の若い順に南北、東西のライン毎にまとめて貼り付ける。

## ⑤調査ラインの方向

南北、東西のいずれかを記入する。

## ⑥番号札 No.

根株と一緒に撮影した番号札の番号を記入する。

様式 B3 炭素蓄積量調査工程写真例

様式 B3 炭素蓄積量調査工程写真

① 格子点ID  
080470

② 調査年月日  
20210812

③ 調査担当者  
森山太郎

④



堆積有機物の堆積状態  
調査位置 : ⑤ N  
ファイル名 : 080470N1.jpg

④



土壌断面  
調査位置 : ⑤ N  
ファイル名 : 080470.N2.jpg

④



堆積有機物の堆積状態  
調査位置 : ⑤ E  
ファイル名 : 080470E1.jpg

④



土壌断面  
調査位置 : ⑤ E  
ファイル名 : 080470E2.jpg

## 様式 B3 炭素蓄積量調査工程写真成果品印刷物作成要領

本様式は、最終成果品として提出する印刷物にだけ使用する。写真の電子データは、「成果提出の手引き」を参照して、決められたファイル名をつけて 1 枚ずつ個別の画像ファイルとして提出する。

本様式は、形式が同様であれば、様式ファイルに用いられているマイクロソフトエクセル以外のアプリケーションを使用して作成しても差し支えない。

## ①格子点 ID

調査地の格子点 ID 番号（6 桁数字）を記入する。

## ②調査年月日

調査を実施した年月日を西暦 8 桁数字で記入する。複数日にまたがった場合はその最終日を記入する。

## ③調査担当者

実際に現地調査を担当した者の氏名を記入する。氏名は姓名を記入することとし、問い合わせに答えることができる者の氏名を記入する。

## ④写真添付欄

撮影した堆積有機物の堆積状況と土壌断面の写真を、横長に枠いっぱいの大きさに貼る。1 ページには 2 枚 1 組で 2 方向分の 4 枚ずつを、北、東、南、西の順に貼り付ける。

## ⑤調査位置

N（北）、E（東）、S（南）、W（西）のいずれかを記入する。

様式 B4 分析用試料混合工程写真

様式 B4 分析用試料混合工程写真

① 格子点ID

080470

② 調査年月日

20210812

③ 調査担当者

森山太郎

④



0～5cmの混合前試料写真

ファイル名 : 080470C1. jpg

④



5～15cmの混合前試料写真

ファイル名 : 080470C2. jpg

④



15～30cmの混合前試料写真

ファイル名 : 080470C3. jpg

## 様式 B4 分析用試料混合工程写真成果品印刷物作成要領

様式は、最終成果品として提出する印刷物にだけ使用する。写真の電子データは、「成果提出の手引き」を参照して、決められたファイル名をつけて 1 枚ずつ個別の画像ファイルとして提出する。

本様式は、形式が同様であれば、様式ファイルに用いられているマイクロソフトエクセル以外のアプリケーションを使用して作成しても差し支えない。

## ①格子点 ID

調査地の格子点 ID 番号（6 桁数字）を記入する。

## ②調査年月日

調査を実施した年月日を西暦 8 桁数字で記入する。複数日にまたがった場合はその最終日を記入する。

## ③調査担当者

実際に現地調査を担当した者の氏名を記入する。氏名は姓名を記入することとし、問い合わせに答えることができる者の氏名を記入する。

## ④写真添付欄

撮影した混合前試料の写真を、横長に枠いっぱいの大きさに貼る。上から 0 ～ 5cm、5 ～ 15cm、15 ～ 30cm の順に貼り付ける。

## 様式 A1 調査実施状況確認票

格子点ID (6桁数字)

調査年月日 (西暦8桁数字)

調査担当会社

調査カテゴリ : A・B

調査担当者

調査実施状況 : 完了・未完了・不実施 (未完了、不実施の場合は備考欄に詳細経過を記入。)

不実施の理由

☐ 所有者・地権者の同意を得られない。☐ 法的規制☐ その他 (具体的に )

## 調査地の属地情報

座標 (中心点座標をGPSで確認し記入する。測地系はWGS84を使用する。)

北緯 : 度 分 秒

機器名 :

東経 : 度 分 秒

地籍名 : 都道府県

郡 市町村

森林所有 : 国有林・民有林

森林計画区 : 林小班 :

国有林の場合 → 管轄森林管理署名 :

## 到達経路

☐ 到達経路情報通りに到達できた。☐ 到達経路情報とは一部異なっていたが、到達できた。☐ 到達経路情報以外の経路で到達できた。☐ 到達できなかった。

} 下の備考欄へ詳細を記入

備考 (到達経路、調査プロットや中心杭、円周杭を見つけるための特記事項、未完了の理由など。)

☐ 生態系多様性基礎調査野帳 (最大傾斜 ° 半径斜距離 m) に基づいて仮杭を設置。( N・E・S・W )

## 様式 A2 調査プロット見取り図

格子点ID (6桁数字)

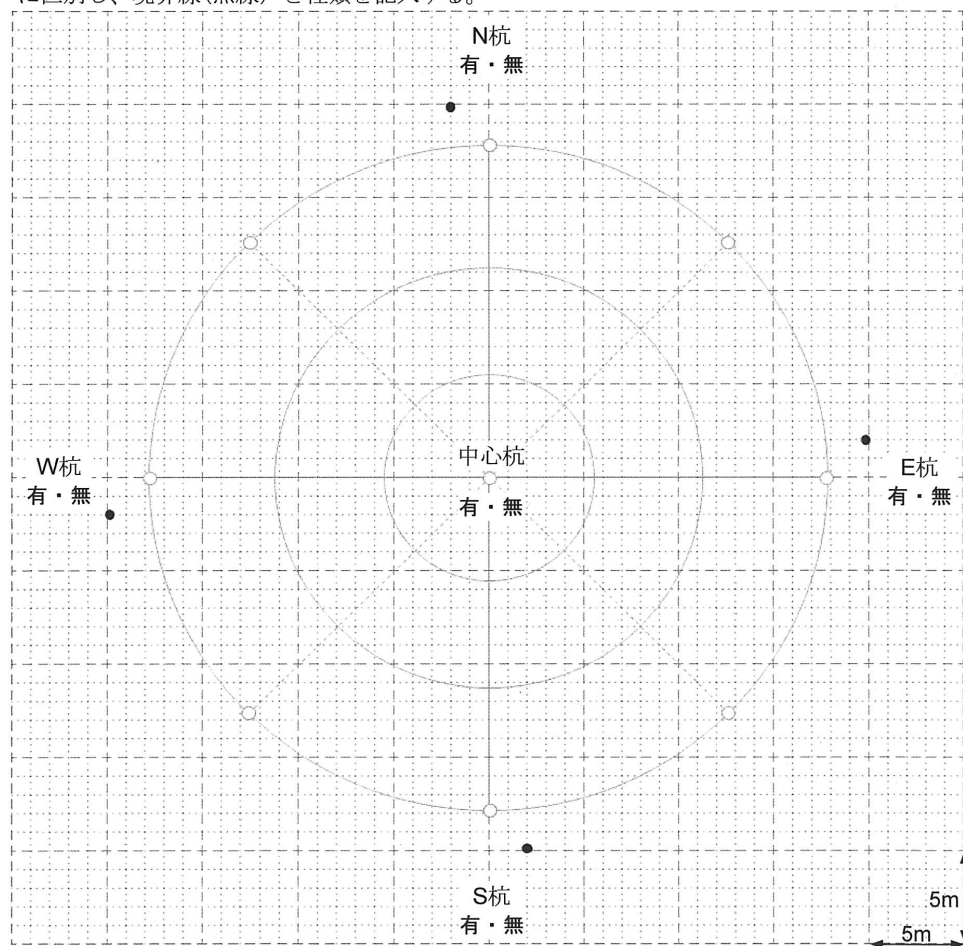
調査年月日 (西暦8桁数字)

調査担当者

調査カテゴリ: A・B

## 調査プロット見取り図

- ・ 中心杭およびN、E、S、Wの各外周杭の有無を○で囲む。
- ・ ●はカテゴリAの土壌炭素蓄積量調査位置。移動した場合は×をつけ、新たな調査位置に●を記入し矢印と移動距離を記入する。調査を取り消した場合は×をつける。
- ・ 地形の概況を等高線（実線）等により記載し、斜面の上下を記入する。
- ・ 枯死木調査の調査ラインから除外される道路や河川等や、特徴的な地形等を記載する。
- ・ 調査プロット内に複数の林相や森林以外の土地が含まれる場合はスギ林、コナラ林、畑のように区別し、境界線（点線）と種類を記入する。



## 調査位置の取り消し、移動

調査位置      移動距離(m)    理由

N : ☐ 取り消し   ☐ 移動 :      :E : ☐ 取り消し   ☐ 移動 :      :S : ☐ 取り消し   ☐ 移動 :      :W : ☐ 取り消し   ☐ 移動 :      :

## 様式 A3 枯死木調査票

格子点ID(6桁数字)

調査年月日(西暦8桁数字)

調査担当者

調査ライン： 南北・東西 ( ) 枚中の ( ) 枚目 裏面への記載： 有・無

ラインの水平距離測定

使用した測器 ☐ レーザー／超音波測器, ☐ 巻尺とクリノメーター

| 番号 | 水平距離    | 斜距離と傾斜角 |        | 対象外チェックと理由               | 傾斜構成簡易図 中心杭で区切る。各杭の位置を明示する。 |
|----|---------|---------|--------|--------------------------|-----------------------------|
|    | 水平距離(m) | 斜距離(m)  | 傾斜角(°) |                          |                             |
| 1  |         |         |        | <input type="checkbox"/> |                             |
| 2  |         |         |        | <input type="checkbox"/> |                             |
| 3  |         |         |        | <input type="checkbox"/> |                             |
| 4  |         |         |        | <input type="checkbox"/> |                             |
| 5  |         |         |        | <input type="checkbox"/> |                             |
| 6  |         |         |        | <input type="checkbox"/> |                             |
| 7  |         |         |        | <input type="checkbox"/> |                             |
| 8  |         |         |        | <input type="checkbox"/> |                             |
| 9  |         |         |        | <input type="checkbox"/> |                             |

( ) ←方位 方位→ ( )

樹種の略称設定： ( : ) ( : ) ( : ) (S: 針葉樹) (K: 広葉樹)

ラインインターセクト法

・倒木調査 ☐ 倒木無し

| 番号 | 樹種 | 分解度 | 直径(cm) |
|----|----|-----|--------|
| 1  |    |     |        |
| 2  |    |     |        |
| 3  |    |     |        |
| 4  |    |     |        |
| 5  |    |     |        |
| 6  |    |     |        |
| 7  |    |     |        |
| 8  |    |     |        |
| 9  |    |     |        |
| 10 |    |     |        |
| 11 |    |     |        |
| 12 |    |     |        |
| 13 |    |     |        |
| 14 |    |     |        |
| 15 |    |     |        |
| 16 |    |     |        |
| 17 |    |     |        |
| 18 |    |     |        |
| 19 |    |     |        |
| 20 |    |     |        |

ベルト法

・立枯木調査 ☐ 立枯木無し

| 番号 | 樹種 | 分解度 | 胸高直径(cm) | 高さ(m) | 目測                       | 幹折れ                      |
|----|----|-----|----------|-------|--------------------------|--------------------------|
| 1  |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2  |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3  |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4  |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5  |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

・根株調査 ☐ 根株無し

\*札No. には根株の写真に写した札の番号を記入

| 札No.* | 樹種 | 分解度 | 直径(cm) |    | 地際高(cm) |   | 重複                       |
|-------|----|-----|--------|----|---------|---|--------------------------|
|       |    |     | 根株     | 地際 | 上       | 下 |                          |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |
|       |    |     |        |    |         |   | <input type="checkbox"/> |

分解度：木本は0～5、タケはa～c

例外的処置：

同一樹種・分解度で1ラインに9本以上

→平均的な直径の4本を選び、

樹種(本数)、サイズを記入

例) タケ(23) c 8.5

タケ(23) c 9.5

タケ(23) c 10.0

タケ(23) c 9.5

## ・倒木調査

格子点ID: \_\_\_\_\_

調査ライン： 南北・東西

## ・立枯木調査

| 番号 | 樹種 | 分解度 | 胸高直径(cm) | 高さ(m) | 目測                       | 幹折れ                      |
|----|----|-----|----------|-------|--------------------------|--------------------------|
| 6  |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 7  |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 8  |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 9  |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 10 |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 11 |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 12 |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 13 |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 14 |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 15 |    |     |          |       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

- ・根株調査

[illegible]

## 様式 A4 炭素蓄積量調査票

格子点ID (6桁数字)

調査年月日 (西暦8桁数字)

調査位置

調査担当者

N・E・S・W

調査位置の取り消し、移動

☐ 取り消し ☐ 移動 ..... m

調査位置の地況

植生 (林種) : 人工林・天然林・伐採跡地・未立木地・竹林

優占 (樹) 種 : ..... 林床植生 : .....

特殊地形 : 該当なし・沢・河川・岩石地・崖

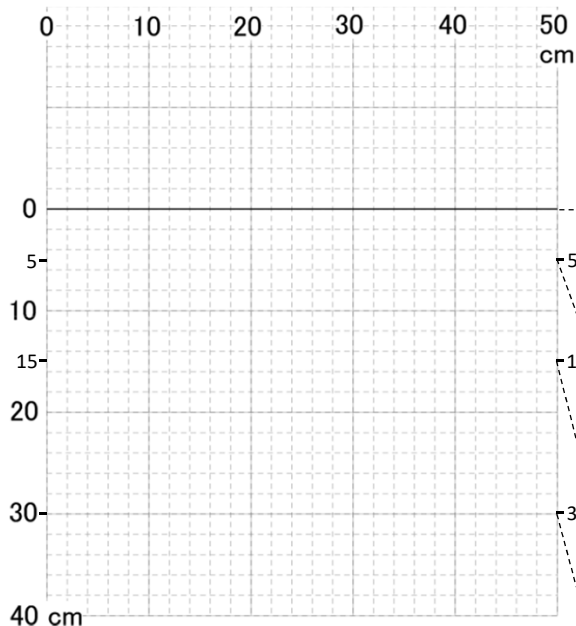
斜面方位 : 平坦地・N・NE・E・SE・S・SW・W・NW

調査結果

堆積有機物枠傾斜 ..... 度

| 区分 | 層位     | 厚さcm     | 試料確認                       | 内容、堆積状況など |
|----|--------|----------|----------------------------|-----------|
| 枝  | T      |          | <input type="checkbox"/>   | T: .....  |
|    | 堆積有機物層 | L: ..... | K <input type="checkbox"/> | L: .....  |
|    |        | F: ..... |                            | F: .....  |
|    |        | H: ..... |                            | H: .....  |

断面スケッチ

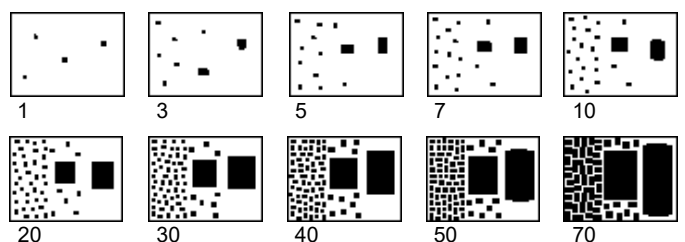


- ・調査位置が巨礫、岩石地、沢、河川の場合は、堆積有機物量調査を実施し、石礫率を全深度100%とする。
- ・定体積試料をブロックで採取した場合は、試料確認チェック欄にサイズ (幅×奥行×高さcm) を記載する。
- ・スケッチしきれない石礫があるときは備考欄にその旨記載する。
- ・試料採取時の石礫率の印象が断面と異なる場合は備考欄に記載する。

| 採取<br>深度<br>cm | 石礫率<br>% | 試料確認                     |                                                                                |  | 備考 |
|----------------|----------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|--|----|
|                |          | 化学<br>分析                 | 定体積                                                                            |  |    |
|                |          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> |  |    |
| 0-5            |          | 幅 20                     | 幅                                                                              |  |    |
|                | 奥行10     | 奥行                       |                                                                                |  |    |
|                | 高さ 5     | 高さ                       |                                                                                |  |    |
| 5-15           |          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> |  |    |
|                | 幅 10     | 幅                        |                                                                                |  |    |
|                | 奥行10     | 奥行                       |                                                                                |  |    |
|                | 高さ10     | 高さ                       |                                                                                |  |    |
| 15-30          |          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> |  |    |
|                | 幅 10     | 幅                        |                                                                                |  |    |
|                | 奥行 5     | 奥行                       |                                                                                |  |    |
|                | 高さ15     | 高さ                       |                                                                                |  |    |

その他備考

石礫率見本 (%)



## 様式 A5 試料リスト

## 基礎情報

|        |  |
|--------|--|
| 格子点ID  |  |
| 都道府県   |  |
| 調査年月日  |  |
| 調査担当機関 |  |
| 記入者氏名  |  |

- ・分析用試料の混合試料作成時に作成。
- ・試料を並べ野帳様式A4と照合し、「試料の有無」と「種類」をチェックしてリストに記入。
- ・リストは試料に添付して試料調整担当者へ送付。  
送付前に仮提出用のコピーかスキャンファイルを保存。

備考

## 化学分析用土壌試料

| 調査位置 | 深度      | 試料ID | 採取状況 |
|------|---------|------|------|
| N地点  | 0-5cm   | N11  |      |
|      | 5-15cm  | N12  |      |
|      | 15-30cm | N13  |      |
| E地点  | 0-5cm   | E11  |      |
|      | 5-15cm  | E12  |      |
|      | 15-30cm | E13  |      |
| S地点  | 0-5cm   | S11  |      |
|      | 5-15cm  | S12  |      |
|      | 15-30cm | S13  |      |
| W地点  | 0-5cm   | W11  |      |
|      | 5-15cm  | W12  |      |
|      | 15-30cm | W13  |      |

⇒  
VBCは  
混ぜない

## 化学分析用混合土壌試料 ※混ぜる前に写真撮影

| 深度      | 試料ID | 混合状況 |     |     |     |
|---------|------|------|-----|-----|-----|
|         |      | N地点  | E地点 | S地点 | W地点 |
| 0-5cm   | C11  |      |     |     |     |
| 5-15cm  | C12  |      |     |     |     |
| 15-30cm | C13  |      |     |     |     |

記入方法    ✓ 混合試料に加えた場合  
                  — 試料を混合していない場合

## 堆積有機物試料

| 調査位置 | 区分   | 試料ID | 採取状況 |
|------|------|------|------|
| N地点  | T    | NT   |      |
|      | LFH層 | NK   |      |
| E地点  | T    | ET   |      |
|      | LFH層 | EK   |      |
| S地点  | T    | ST   |      |
|      | LFH層 | SK   |      |
| W地点  | T    | WT   |      |
|      | LFH層 | WK   |      |

記入方法    ✓ 試料を採取した場合  
                  — 試料を採取していない場合

## 定体積土壌試料

| 調査位置 | 深度      | 試料ID | 採取形態 |   |    |     | 試料サイズ |    |    |
|------|---------|------|------|---|----|-----|-------|----|----|
|      |         |      | 無し   | V | VB | VBC | 幅     | 奥行 | 高さ |
| N地点  | 0-5cm   | N11  |      |   |    |     |       |    |    |
|      | 5-15cm  | N12  |      |   |    |     |       |    |    |
|      | 15-30cm | N13  |      |   |    |     |       |    |    |
| E地点  | 0-5cm   | E11  |      |   |    |     |       |    |    |
|      | 5-15cm  | E12  |      |   |    |     |       |    |    |
|      | 15-30cm | E13  |      |   |    |     |       |    |    |
| S地点  | 0-5cm   | S11  |      |   |    |     |       |    |    |
|      | 5-15cm  | S12  |      |   |    |     |       |    |    |
|      | 15-30cm | S13  |      |   |    |     |       |    |    |
| W地点  | 0-5cm   | W11  |      |   |    |     |       |    |    |
|      | 5-15cm  | W12  |      |   |    |     |       |    |    |
|      | 15-30cm | W13  |      |   |    |     |       |    |    |

記入方法    定体積試料の採取形態に合わせて4つの欄のうちどれかに✓を付ける  
「VB」か「VBC」で採取した場合は、試料サイズ欄にブロックサンプリング時のサイズをcm単位で記入する。  
「V」で採取した場合と試料採取が無かった場合は、試料サイズ欄には何も記入しない。

試料受取日

## 様式 B1 調査地林相写真

格子点ID

調査年月日

調査担当者

---



調査地林相写真

撮影方向 : 中心点より 方向

ファイル名 :



調査地林相写真

撮影方向 : 中心点より 方向

ファイル名 :

## 様式 B2 枯死木調査工程写真

格子点ID

調査年月日

調査担当者

根株の写真  
 ラインの方向 :  
 番号札No. :  
 ファイル名 :

根株の写真  
 ラインの方向 :  
 番号札No. :  
 ファイル名 :

根株の写真  
 ラインの方向 :  
 番号札No. :  
 ファイル名 :

根株の写真  
 ラインの方向 :  
 番号札No. :  
 ファイル名 :

## 様式 B3 炭素蓄積量調査工程写真

格子点ID

調査年月日

調査担当者

堆積有機物の堆積状況

調査位置 :

ファイル名 :

土壌断面

調査位置 :

ファイル名 :

堆積有機物の堆積状況

調査位置 :

ファイル名 :

土壌断面

調査位置 :

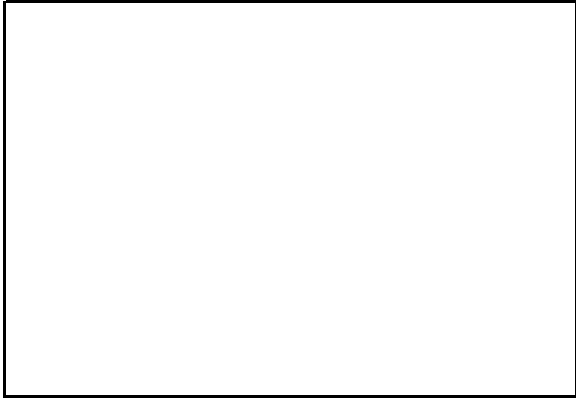
ファイル名 :

## 様式 B4 分析用試料混合工程写真

格子点ID

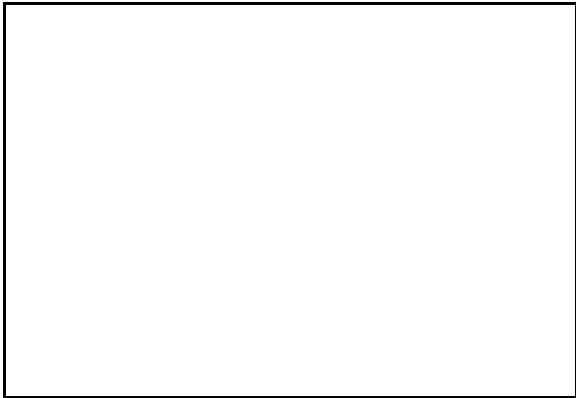
調査年月日

調査担当者



0～5cmの混合前試料写真

ファイル名：



5～15cmの混合前試料写真

ファイル名：



15～30cmの混合前試料写真

ファイル名：